



January 25.2010
No.102

かが
んが
だ

kanda

議会だより

12月
定例会

新年のご挨拶	2
ひとにやさしい町づくり	3
委員会報告・第9回定例会	4～5
ズバリ町政を問う（10人が質問）	6～16
委員会レポート	17
季節の風景	18・19
ぼくのわたしの想う町づくり	20



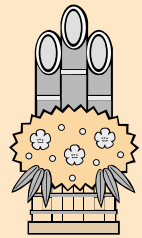
宇原神社



新年のごあいさつ



荻田町議会
議長 武内 幸次郎



新年あけましておめでとうござい
ます。

平成22年の年頭にあたり町議会を
代表いたしましたして、謹んで新年のご
挨拶を申し上げます。

一昨年のリーマンショック以来、
世界的な景気の悪化により、国内経
済の落ち込みは、今だ、確とした回
復基調には程遠く低迷を致しており
ますし、出口すら見えぬ先行き不透
明な状況であり、加えて少子高齢化
に伴う人口減少時代の到来など自治
体を取り巻く環境は大きく変化を致
しております。

このような状況にあるからこそ、
地域経済の自立的発展と活性化が強
く求められています。私共、議会と
致しましても更なる町政の進展のた
め、町民の方々との対話や連繫を密

にし、執行部と共に積極的な行政を
推進して参る所存でございます。

また、地方分権の進展により地域
主権改革という新たな展開を見せて
おり、地方議会の果たすべく役割・
重要度がさらに高まっていますし、
多様化する住民のニーズに十分応え
ていくためにも、時代に即した対応
能力を養い、この厳しい時代の変化
に果敢に立ち向かっていかななくては
なりません。

議会と致しましても、こころ新た
にして荻田町の更なる飛躍の年にな
るように頑張つて参りたいと思いま
す。

新しい年を迎え、町民の皆様方
のご健勝とご多幸を議員一同心よりご
祈念申し上げます。

寅年生まれ!!



あつまれ!!

荻田町の「寅年」生まれの人数は
1, 697名

(平成21年12月末現在)



与原小学校5年生



ひとにやさしい町づくり

小・中学校に
地上デジタル放送対応テレビ導入

1,340万円



稲光・八田山線歩道新設工事

1,300万円



12月定例会（4日から21日）
補正予算・条例・町道の認定・財産取得など可決

一般会計補正予算 1億4千977万円追加



総務常任委員会報告



総務常任委員長
坂本 東二郎

委員会に付託された議案6件は慎重審議の結果、可決した。

- 平成21年度苅田町一般会計補正予算(第9号)

特段の質疑、意見なし。

- 苅田町税条例の一部を改正する条例の制定について

特段の質疑、意見なし。

- 苅田町消防長の任命資格を定める条例の制定について

特段の質疑、意見なし。

- 福岡県自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少について

特段の質疑、意見なし。

- 福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合を組織する地方公共団体の数の減少について

特段の質疑、意見なし。

- 福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について

特段の質疑、意見なし。

産業建設常任委員会報告



産業建設常任委員長
三原 茂

委員会に付託された議案3件は慎重審議の結果、可決した。

- 平成21年度苅田町一般会計補正予算(第9号)

北九州エアポートバス運行補助金について、年度ごとの見直しを行うのか。

- 平成21年度苅田町水道事業会計補正予算(第2号)

Q 湧水がいつ発生し、経費の内訳は。

A 6月22日、湧水対策本部設置。井ノ口池水源確保の為、仮設ポンプ設置。

- 町道路線の認定について

特段の質疑、意見なし。

厚生文教常任委員会報告



厚生文教常任委員長
友田 敬而

委員会に付託された議案7件は慎重審議の結果、可決した。

- 平成21年度苅田町一般会計補正予算(第9号)

●民生費

- 身体障害者福祉費自立支援給付費の増額理由は。

A 法改正により、自己負担の低減による。

- 乳幼児子供医療費870万円の内訳は。

A 昨年度実績での差額及び、新型インフルエンザ対応による増。

- 衛生費

●新型インフルエンザ接種費用補助金の支払い方法が償還払いであるが、医療機関払いにできないか。

A 国の管轄のため難しい。

- 補助金償還の短縮は。

A 検討し、短縮に努めたい。

- 平成21年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)

特段の質疑、意見なし。

- 平成21年度苅田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

特段の質疑、意見なし。

- 平成21年度苅田町介護保険特別会計補正予算(第4号)

Q 居宅介護サービス給付費並びに、計画給付費の増額理由は。

A 項目が多岐であり、正確な見積りが困難。

- 苅田町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について

特段の質疑、意見なし。

- 福岡県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

特段の質疑、意見なし。

- 財産の取得について

Q 議案をなぜ追加上程しないのか。

A 政権交代による事業の見直しで、交付決定がおくれた。





平成21年 第八回苅田町議会臨時会

(平成21年11月26日)

総務常任委員会報告

総務常任委員長
坂本 東二郎

委員会に付託された議案4件は慎重審議の結果可決した。

●平成21年度苅田町一般会計補正予算(第8号)

特段の質疑、意見なし。

●苅田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

Q管理職を中心に引き下げ改定になっているが、生活を含め一番大変な時期ではないのか。

A人事院勧告に従っている。

●苅田町長及び副町長給与条例等の一部を改正する条例の制定について

特段の質疑、意見なし。

●専決処分について(和解及び損害賠償額の決定について)

特段の質疑、意見なし。

産業建設常任委員会報告

産業建設常任委員長
三原 茂

●平成21年度苅田町一般会計補正予算(第8号)

特段の質疑、意見なし。

●平成21年度苅田町土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)

特段の質疑、意見なし。

●平成21年度苅田町下水道事業会計補正予算(第2号)

特段の質疑、意見なし。

●平成21年度苅田町水道事業会計補正予算(第1号)

特段の質疑、意見なし。

●苅田町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について

特段の質疑、意見なし。

厚生文教常任委員会報告

厚生文教常任委員長
友田 敬 而

●平成21年度一般会計補正予算(第8号)

Q地域密着型介護サービスとは。

A住み慣れた地域で介護基盤整備を行う。

Q業者選定の認定基準は。

A7区分について行った。

4号)

特段の質疑、意見なし。

●平成21年度苅田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

特段の質疑、意見なし。

●平成21年度苅田町介護保険特別会計補正予算(第3号)

特段の質疑、意見なし。

●専決処分について(平成21年度苅田町一般会計補正予算(第7号))

Q児童・青少年に対しても、

新型インフルエンザ接種費の補助は出来ないのか。

A12月議会に予算計上する。

第九回定例会

決議書

決議書案第1号

天皇陛下御即位二十年奉祝の賀詞決議書(案) ……可決

意見書

意見書案第11号

さらなる緊急雇用対策の実施を求める意見書(案) ……可決

意見書案第12号

温室効果ガス削減の中期目標に関する意見書(案) ……可決

意見書案第13号

所得税法第56条の廃止を求める意見書(案) ……可決

意見書案第14号

高校入学金と授業料の無償化及び

返済不要の奨学金制度創設等を求める意見書(案) ……可決

意見書案第15号

悉皆方式による全国学力・学習状況調査の

継続を求める意見書 ……可決

意見書案第16号

改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書(案) ……可決

可決された意見書は関係機関に送付した。

人事案件

副町長に

大 群 拓也 氏を選任することに同意

固定資産評価審査委員会委員に

緒 方 新 一 氏を選任することに同意



かんだ

町政を問う!!

一般質問は、10名が質問

一問一答

白石 学 議員 7

- 1. 下水道事業について
- 2. 教育・福祉行政について
- 3. 健全財政について

三原 茂 議員 8

- 1. これからのまちづくりについて

木原 洋征 議員 9

- 1. 教育問題の現状と課題
- 2. 国民健康保険について
- 3. 「人が元気、まちが元気、未来へはばたく菟田町を」について

坂本東二郎 議員 10

- 1. 町長再選後の課題と抱負について

小山 信美 議員 11

- 1. 子育て支援について
- 2. 高齢者の命を守る
- 3. 自殺対策と相談体制の充実

友田 敬而 議員 12

- 1. 所信を問う

富安 正直 議員 13

- 1. 菟田町青少年国際交流事業を問う
- 2. 温水プール事業を見直せ
- 3. すべての児童生徒が安心して学習に集中できる環境作りを

梶原 弘子 議員 14

- 1. 住みやすい町づくり計画について
- 2. 寡婦医療無料制度の復活を願う
- 3. わかりやすい町政運営を願う
- 4. 同和問題
- 5. イノシシ被害対策を

松蔭日出美 議員 15

- 1. 白川、片島の少子化対策について
- 2. 外国債について
- 3. 火のない所に煙は立たないという言葉がありますが

常廣 直行 議員 16

- 1. 町長所信表明「人が元気、まちが元気、未来へはばたく菟田町」
- 2. 菟田町の事業仕分け
- 3. 教育現場の課題

※掲載は登壇順



公明党
白石 学 議員

Q 合併浄化槽について問う

A 補助金等の見直しを行っている

- Q 具体的には。
- A 維持管理費分について補助をする。
- Q 合併浄化槽での整備地域決めに先に行い、効果を見ることもできるのでは。
- A 合併浄化槽と決められた地区では、補助金等の検討を早急にして、整備に入っていきたい。
- Q 片島農業集落排水事業について回収の検証はしているのか。
- A 使用料回収率は10%、今後の見込みは、3年後に22%である。
- Q 残りは。
- A 残りの90%は、一般会計からの繰り出しである。
- Q 白川南部地区も、その懸念が考えられるが。
- A 十分想定している。いかに事業費を圧縮するか検討している。

- 外国債購入について
- Q なぜ6回に分けて購入したのか。
- A ペイオフに備えての基金運用で、大きな意味はない。
- Q 会議要領にある連絡会議は開いたのか。
- A 平成19年11月2日に、1回開いた。
- Q 最初に買ったのが、平成19年8月8日。外国債の購入に対する連絡会議は開いていないのか。
- A 連絡会議は、要領の改正や手数料の件で、購入についての会議はしていない。
- Q 要領に、「安全かつ効率的な金融商品の選択基準について」と検討内容が書かれている。そのための連絡会



下水道視察

- 議ではないのか。
- A そうすべきだったかもしれないが、要領等は内規であり、財政調整基金条例規定には合致している。
- Q 町民の大切な税金である。連絡会議の運用の仕方について、議員や第三者を入れるかどうか。
- A もう少し規則を整備するか、連絡会議に有識者のな
- 第三者を入れるなど検討していききたい。
- 二崎浄水場改修について
- Q 事業費が31億9000万円、起業債が大部分を占めるようだが。
- A 起業債は22億8190万円を予定。5年据え置き30年償還を予定。健全財政維持のため、値上げも必要と考えている。

Q

財政調整基金の運用・プール建設費等で税金が適切に使われているのか

A

有効・適切に使われている

無党派
三原 茂 議員

- Q 財政調整基金の運用について何の目的のために17億円も投資したのか。また、どのような経緯で協議がなされ購入されたのか。
- A 安全性・流動性・収益性に照らし合わせ購入した。担当課より話があり最後は町長が決裁。
- Q 約定書の中に「倒産等発行会社の財務状況による損失がある」と記述されている。1点目に、リスクが発生した場合、誰が責任をとるのか。2点目に、5億なり2億なり数億の損失金が発生した場合、どのような形で補てんするのか。
- A 倒産した場合という仮定の話にお答えするのは難しい。債券発行会社は、トリ

- プルAという適格な等級の会社である。
- Q 17億円は、町民の血税である。トリプルAでもつぶれないという保証はあるのか。これだけのリスクを背負って購入したのだから倒産した場合、誰が責任を取って誰が補てんするのか決めるべきだ。そのくらいの責任感はないのか。
- A 倒産の危険性・リスクとこの金融機関にもある。
- エアポートバスについて
- Q 今議会において西鉄バスの代替案として5年間で4100万円、年820万円の補助金を出して、苅田駅から空港までバスを走らせようとしている。西鉄バスの利用実績が1便当たり1・38人なのになぜ28人乗りのバスが必要なのか。また、年間9000人位の利用者のうち車イスで利用されている方は何人いるのか。
- A 利用客の増大につなげていきたい。利用増の時に28

- 人乗りバスは必要である。車イスの利用については、把握していない。
- Q バスの年間運行経費が1100万円。町の補助金が800万円。運賃収入見込みは550万円。年250万円の利益が委託業者に残る計算になるが、補助金の金額の支出根拠は。

- A 利用客を増やし、運賃収入を上げ補助額を減らしたい。
- Q 朽網駅からも同様なバスが走っている。1つの空港に2つのサービスは必要ないと思うがなぜ必要なのか。
- A 苅田駅からの空港利用を望んでいる。



コミュニティバス



日本共産党
木原 洋征 議員

Q 新津中の改善への道筋は

A 先生が本気になれば道は拓ける

Q 新津中への進学を躊躇する親子が増えている。3ヶ月間で改善されるのか。

A 子どもたちの変化は見えている。先生が本気になれば、子どもたちが安心して授業を受けられると思う。

Q 小・中学校での問題解決に、スクールソーシャルワーカーの増員を。

A 現段階では具体的に考えていない。今後検討は必要。

Q 小学校の保護者から「いじめの問題」があり、学校側の対応が不十分だったと相談を受けたが。

A 担任一人の対応には限界がある。学校としての対応を考える必要がある。

Q 国民健康保険について

A 国保引き上げの最大の原因は国庫負担の引き下げにある。その内容は、①医

療費負担の引き下げ②事務費の国庫負担廃止③助産費補助金への国庫負担廃止④保険料の軽減費負担金は全額国庫負担を半分など、制度の改善と国の指導により、所得割を減らし、個別割を増やし、低所得者への負担が重くなった。そのことが国保税を引き上げ、滞納世帯を大幅に増やす事になったのでは。

A 制度が変わり、厳密に計算しないと分からない。

Q 今の滞納状況、町民の負担増を解消する気があるのか。

A 町単独では限りがある。こういう時代でもあり、できることから考えたい。

Q 健康体操指導員を増やし、全行政区で健康体操を

実現してほしい。

A 今後は、サポーターを養成し、随時実施地区を拡大していく。

Q 人が元氣、まちが元氣、未来へはばたく苅田町

Q 11月20日、第1回「京築地区いのちとくらし相談会」をハローワーク前で開催し、24名が相談にこられた。大部分が派遣切りで再就職ができず不安を抱えていた。町長が雇用拡大の先頭に立つて奮闘を。

A 町内の企業に求人をお願いした。年明けにも再度町民雇用の拡大や新卒者の採用について要望する予定。

Q 派遣切りや自営業で所得激減の人たちを自治体として救えないか。国保税や水道料金など生きて行くためにも必要なものは、期間限定でも免除規定を設けるべきでは。

A 水道料金の減免はないが、他の多くの減免措置があり、活用していただきたい



新津中学校 あいさつ運動



Q 町民力をいかに引き出すか

A 住みよい地域社会を形成していく



清明会
坂本東二郎 議員

Q 町民力とは住民が潜在的に持っている能力、エネルギー、パワーであり、町づくり地域づくりの為に必要不可欠の存在である。よってその活動の受け皿的な、本町としての窓口はあるのか。

A 特に決めた窓口はない。その都度関係部署が対応窓口になると思う。

Q 住民が公の活動をしたいと単純素朴に思ったときに、スムーズに展開できるような体制づくりが必要ではないか。

A 地域のコミュニティーを積極的に進めるといふ点からも窓口を考える時期に来ているのではないか。

Q 本町の税収見通しと税金還付金の状況は。

A 21年度予算を若干上回り77億円以上は確保できる。還付金については、ほとんどが法人町民税の還付であり、11月末時点で169件、2億1700万円である。企業からの税収の割合が高い本町は世界経済の動向から目が離せない。今後は無駄を排除し一層の歳出削減に努める。

Q 個人の町民税は。

A 納入状況は16億1500万円であり予算分以上は確保されている。

Q 本町の基金運用の問題だが、債券運用期間の枠決め、運用委員会に外部有識者の意見を入れる。議会に対して報告を義務付ける等の方策を考えたかどうか。

A 基金運用規定の整備、連絡会議のメンバーに有識者を入れるなど、検討して議会に報告をしていく。

Q 定住化政策の一つとして、太陽光発電システムに対する本町としての助成支援を



みやこ峠より菊田港を望む

考えたかどうか。

A 定住化については大変気を使っている。エコの問題も環境問題として大事であり、本提案も他市町村の動向等も調べたい。

Q 官学連携の中で、西工大、戸早学園、菊田工業高校3校が一番欲しいものは何か。

A 学生ではないか。



みやこ峠より白川地区を望む

Q 3校の特徴を生かした地域交流活動を促進すべきだ。西工大の留学生から中国語講座。専門学校からリハビリや介護の指導。この様な交流活動は極めて大事な事だと考える。



公明党
小山 信美 議員



Q ヒブ菌の予防ワクチンに 公費助成を A 他市町村の動向を見て検討する

Q ヒブワクチンについての認識は。

A 医師会の研修や協議で話を聞いているので、接種の大きさは認識している。

Q 今後の取り組みについては。

A 医師会の意見も聞き、ワクチン接種が可能になれば考えていきたい。

高齢者の命を守る

Q 肺炎はがんや心臓病、脳血管疾患に次いで死因の第4位。肺炎球菌ワクチン接種に対する考えは。

A 近隣では吉富町が助成をしているので話を伺い、医師会にも聞いて進めていく。北海道の瀬棚町では、ワクチン接種に公費助成を始めたところ、医療費の削減に

つながった例もある。それに対する考えは。

A 医療費の削減は本町でも大変大きな課題であり、高齢者の死亡原因の一つに肺炎が大きく上がっている事

も認識している。今後、医療費削減のために必要な努力はしていく。

自殺対策と相談体制の充実

Q 自殺者数と無職者数は。

A 平成18年度福岡県人口動態統計において8名。無職者数は把握できていない。

Q つつ病対策については。

A 県と緊密に連絡を取って健康相談をしている。

Q 職員の相談、研修はどう考えているか。

A 今年度から職場健康相談として毎月1回講師（九州労災病院のストレス科部長）を迎えて相談体制をとっている。

Q 多重債務問題については。

A 法律相談を設け、専門の弁護士にお願いしている。

Q インターネットによる自殺防止の啓発をする考えは。

A 今後、周知するための広報について検討は必要だ。

Q 青少年ホットラインの件数は。

A 平成20年度実績で、保護者からの相談を含め20件。

Q 小・中学校の取り組みは。

A 道徳教育、保健体育の授業で命の大切さについて考える。年間2回程度、学級担任が一人ひとりに直接教育相談を行っている。

※ヒブ菌

真正細菌であるインフルエンザ菌b型の略称。肺炎・敗血症・喉頭蓋炎などさまざまな感染症を引き起こし、なかでも重篤な感染症がヒブによる細菌性髄膜炎（ヒブ髄膜炎）である。

Q 町民から選ばれた町長、 町民視線で町運営を

A 町民と協働のまちづくりを 大事にする



清明会
友田 敬而 議員

Q 町長1期目と2期目、違いは。

A 1期目で進めた教育、福祉のソフト事業。2期目はさらに充実させるため、ハード面にも積極的に取り組みたい。

Q 安心の子育て政策、具体的な施策は。

A 1期目は大規模複合施設である児童館建設を目指したが認識が不足していた。2期目は既存施設を利用した子どもの居場所づくりを推し進めたい。

Q 本町独自の教育改革。現状の教育状況を見渡せば、見直す時期に来ているのでは。

A 教育改革を始めて5年経過した。子ども達の成長にプラスに働いたもの、課題

Q 健康増進政策。他に思いはないのか。

A 高齢者の集える場所をプール以外にも作りたい。天候に左右されない屋内運動施設を岡崎・片島用地で検討してみたい。

Q 高齢者や障害者が安心して暮らせる福祉政策とは何か。

A 重点と考えているのは医療制度。また、地域のあり方も検討していきたい。

Q 具体的には。

A 地域コミュニティの大切さを実感してきた。自治会単位で地域対策の窓口を設け、相談、支援体制を築きたい。

が生じたものなど様々である。22年早々にも検証委員会を立ち上げ、議会の意見も取り入れながらあるべき教育の方向を見出したい。

Q 選挙戦の争点「温水プール建設」。町長の意向は。

A プールを前面に出して選挙戦を戦った事実を踏まえて取り組みたい。

Q 定住化推進の目玉、「子ども医療費無料化」。自助、共助、公助の精神で取り組んでいるのか。

A 納税の見返りとして、定住化のインセンティブとして、子育て支援という観点で行っている。

Q ゴミの有料化はどのような考えているのか。

A 当面は減量化に努めたい。有料化は様々な観点から検討していきたい。

Q 町長の思い、町の将来像を町民の代表が集う議会でもっと説明するべきでは。

A 1期目は不慣れもあり、対話が不足していた。2期目は積極的に努めたい。



役場庁舎



ニューフォーラム
富安 正直 議員

Q 多くの問題が指摘される 温水プール事業の見直しは A 温水プール事業は2期目の公約として 推進していく

皆さんの報告

Q 今年9月の平成20年度苅田町一般会計決算特別委員会において、苅田町青少年

A 決議を受け止め、慎重に検討する。

国際交流事業補助金の報告が適正に行われていないこと

Q ガイド一人の費用が7日間で98万4100円、運転手つきマイクロバスがキャントン

から問題点を指摘し、事業費の抑制についての意見を述べた。全く反映されなかったが、どう管理しているのか。

とに抗議し、本年度以降については上記事業の根本的な見直しを求めるよう決議

A 意見をふまえて次回について行ってみたい。

するとという附帯決議案を私が提出し、委員会において

Q 滞在中5日間で94万5000円、ヒューストン滞在中3日間で63万5000円、私がこの3項目に関して使途を明確にするよう求めたのに対し、

Q 不透明な支出で、この事業に参加した子供達に迷惑をかけてはならない。しっかりと予算執行を求める。

可決。

Q 12億円とも言われる事業費、年間5000万円に上ると言われる維持費、不足する駐車場、民業への圧迫、多く問題を抱えて、なぜ、あの場

Q 町長はリーマンショック以来の不況を理由に事業を延期した。不況を脱したと判断したのか。

所で強引に進めるのか。

A 1年を通して利用できる温水プールの建設は町民の健康づくり、元気づくりの支援をしていく上で大事な施策と考えている。2期目の公約として推進したい。

Q 本町は予算的にそれほど激しく落ち込むということもないのではないか。

温水プール事業を見直せ

A 不況を脱したと判断したわけではないが、町の財政的には平成18年、19年並みではないかと予想している。

Q この事業は多くの人々が理解出来ない。経済状況などもあり、この

事業を仕切り直しして考え直すべきだ。
A 選挙結果によって、理解を得たと判断している。

温水プール事業は2期目の公約として推進していく



プール建設予定地



Q 外国債購入の経過を聞きたい

A 収益性の高い外国債を購入した



日本共産党
梶原 弘子 議員

Q 町民から外国債のことで熱心な手紙が来ている。「17億円も捨て金のように資金運用に充てた」とあるが。

A 大事なお金だからこそ少しでも安全性、流動性、利益性のあるものということとで運用した。

Q 「苅田町財政調整基金条例」に即してやったのか。

A 債権の運用指針を守りながら運営した。

Q 基金条例3条の2項に必要に応じて最も確実有利な有価証券に換えることができるとなっている。これに即してやったのか。

A そうだ。

Q 手紙では「納めた人達に今使うべき」となっているが。

A 財政調整基金の本来の目的は、長期的、計画的な財政運営をとなっている。今すぐ使うことだけを考慮していない。

Q 「納めた人に使われたい」とは大きな損害を与える」と指摘されている。

A 大きな事業等は後年度負担制度をとっているが、同じ感覚でいくと今つくるものは、今の人が納めるべきとなる。後年度負担もあるが、後年度に財源も残す務めもある。

Q 議会のあり方も問われている。この一連の問題は議会に議決が求められる形になっていない。17億円の大きな金額で建物など建てたのでなく投資された。

A 債券購入は運用指針に違反するものではなかったが、今いろいろ議論を呼んでいることについて、運用指針の整備や運用連絡会議のメンバーに第三者である有識者を入れるなど見直しはできると考えている。

苅田町債券運用指針

債券運用を行う場合の指針を、次のとおり定める。

- 1 優先順位

債券の選択にかかる判断の優先順位は、以下のとおりとする。

 - ① 安全性
 - ② 流動性
 - ③ 収益性
- 2 リスクへの対応

リスクを最小限に抑えるため、次の方法をとる。

 - (1) 信用リスクへの対応
 - ① 購入する債券は、国債等の元本償還が確実な債券とする。
 - ② 金融機関の選定については、「苅田町資金管理並びに運用基準」4の(5)の内、③、④に抵触しない銀行及び証券会社の中から入札参加者を指定し、入札の対象となる債券の条件を示して、競争入札を行うこととする。
 - (2) 債券価格変動リスクへの対応

当該債券の償還期限まで保有することを前提にした債券の購入を原則とする。
 - (3) その他のリスクへの対応

購入する債券は、新発債、既発債を問わず、残存期間が5年を超えない債券とする。
- 3 台帳の整備

債券の購入時及び満期若しくは期中売却時は、債券ごとに下記の事項のうち、確定した事項を選択なく記録し保管する。

 - ① 購入債券の名称
 - ② 購入日、並びに購入価格
 - ③ 購入理由
 - ④ 運用期間
 - ⑤ 満期又は売却日
 - ⑥ 償還価格又は売却価格
 - ⑦ 受取利息の額
 - ⑧ 債券売却益
 - ⑨ 運用期間中の利回り
 - ⑩ 期中売却の場合、その理由

Q 議員は、町民に説明をする義務がある。「知らなかった」ではすまない。資金運用の金額の上限を決めるなど指針を決める委員会をつくらなければならない。

A 議会にも責任が有るといわれていと思うが、議会に報告をするなど決めることは新しい委員会を作らずともできると思う。

Q 「17億円という税金を、町民サービスの義務を果たさず、違法に資金運用している」といっているが違法なのか。

A 委員会を設けて運用した。不正は一切ない。



未来
松蔭日出美 議員

なぜ外国債を買う前に 審議をしなかつたのか

先行きの状況をもっと把握して 判断すべきであり反省している

Q 外国債について。

A より効果的運用の選択肢の一つとして、収益性の高い外国債を、荇田町債券運用指針に基づき購入した。

Q リスク確認書については。

A ①相場変動等の本債券価格への影響及び損失の恐れと関係する指標の種類 ②倒産等、本債券の発行会社の財務状態の悪化による損失の恐れ ③途中売却でき

る場合でも、買い取り価格は償還価格より小さくなり、

投資元本割れが生ずる可能性がある。町長名で公印をうっている。私もこの仕組みについて高い知識を持つていたわけではない。

Q 知識を持っていないのに平成19年8月8日、最初の5億円を買っているが連絡会は審議をしたのか。

A 荇田町公金管理連絡会に

は平成19年11月20日にした。

5億という大きなお金で事前に会議をすべきであったという事は指摘のとおり。反省をする。

Q 反省しても、この資金は大事な町民の血税。災害や地震の時に使うお金ではないのか。

A 財調は大体そういう目的である。

Q なぜ基金を取り崩してまで運用する必要があったのか。

A この時点では利回り等々、いろいろ高利性、有益性、利益性を考えて、有効だと判断した。

Q 30年間下るか、上がるかわからないが、悪いほうになつたりどつするのか。

A なんとも言えない。

Q 17億、30年間、町長は印鑑をつけて決済をしている。なんとも言えないでは無責任ではないか。

Q 白川、片島の少子化対策については。

A 地域の特性を踏まえ、地産地消を推進するため、等覚寺地区の豊かな自然の中で子供達に学習の機会を提

小学校における複式学級の解消といった課題に積極的に取り組んでまいりたい。

Q 地域密着型、多機能とグループホームを組み合わせた施設選定のヒアリングの前に業者が決まった話をしていたがなぜか。

A 把握はしていないが、今の意見を参考にしながら次回委員会に望んでいきたい。



片島地域

Q まちづくりの グランドデザインは

A 経済基盤の強化、定住化促進、 魅力あるまちづくり



ニューフォーラム
常廣 直行 議員

町長の思いを込めた 方策は

- Q 2期目のまちづくり政策は。
- A 妊娠出産、教育支援、高齢者も元気で長生きのための政策を充実させる。
- Q 政策を具体化していく部署が必要ではないか。
- A 秘書課、総合政策課の機能を充実させる。
- Q 後期基本計画、集中改革プランが終了する時期、思いを組み込むチャンスでは。
- A 実現できる計画としていきたい。



須磨園南原曽根線緑ヶ丘トンネル工事

地域コミュニティの 再生

- Q 幅広い政策がコミュニティで具現化できるような強い支援が必要だが。
- A 地域コミュニティ活性化事業は委員会設立までには至らなかった。コミュニティ再生のため、自治会との話し合いを進める。
- Q 幅広い政策に地域コミュニティの力が重要。介護を支援するグループホーム、多機能、居宅看護施設や交

通環境改善の県道須磨園南原曽根線緑ヶ丘トンネル工事は、進め方の不備から大きな課題を残している。早急に経過と問題点を整理すべきだ

苅田町の事業仕分けは

- Q 事務事業の再編、整理、統合、廃止などに取り組んでいる集中改革プランや、行政評価制度による事業見直しを行う時期では。
- A 見直しや経費削減など55項目に取り組んでいる。
- Q 集中改革プラン効果金額2億6千万円の用途は。
- A 特に目的を定めたものではない。

繰越金を活用した 財政運営とは

- Q 将来、どのような財政運営をめざしているのか。
- A 自治体を取り巻く状況変化に対応しながら、行財政改革や、新たな財源確保のため企業立地を進める。
- Q 25億の剰余金は「各会計年度における歳出は、その

年度の歳入をもってこれに充てなくてはならない」という会計年度の原則から「町民は税金を払い過ぎていないのか、行政はニーズにこたえていないのか」と考えられるが。

- A 住民ニーズに対応できる町独自の施策を実行する。

教育目標とは

- Q 義務教育段階として完結させなくてはならない目標を持つことも大切では。
- A 目標は、人間力の育成、豊かな社会力と実践力を身につけた子供の育成。
- Q 目標自体、スローガンのような成果の判断基準は。
- A 数値的に表現することは難しい。

新型インフルエンザの 対応

- Q 現状と今後の対策は。
- A 終息に向かっていないと言えない。県基準を原則に学級閉鎖を実施。



委員会レポート



パンジープラザ（総合保健福祉センター）

厚生文教委員会レポート

さる、12月21日、町内障害者団体と意見交換及びパンジープラザ（総合保健福祉センター）の視察を行いました。

冒頭、会長より、荻田町における障害者の現状報告をして頂き、その後会員の皆様から様々な町への要望をお聞きしました。その中で特に強く要望された



障害者団体と意見交換



パンジープラザ視察

のはパンジープラザに関するものでした。県道25号線開通に伴い、パンジープラザ周辺が激変していること。それによりパンジープラザへの出入りが非常に危険であり、健常者に比べ精神的圧迫があるとの報告がありました。

その後、現地パンジープラザに委員会で訪れ、障害者団体より指摘の箇所を含め視察しました。日頃は気付かない視点で視察すると改めて福祉行政の奥行きを感じると共に、早急な対応を執行部と共に検討しているところであります。

みなさん議会傍聴に来てください

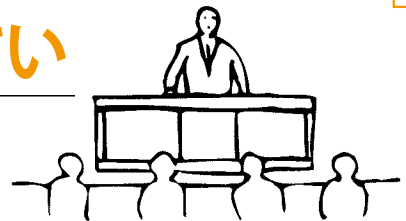
12月議会は
103人の
傍聴者が
ありました

3月定例会の予定

3月2日(火)から
一般質問は3月9日(火)・11日(木)・12日(金)

《開催時間》 10時から17時 受付は庁舎6階
問い合わせは議会事務局

☎093-434-1981





風景

消防出初式



初詣



かんだっ子
教育の集い



新成人 (425名) おめでとうございます 季節の



カルタ取り大会



荻田駅東口完成式



まちの見どころ

表紙の
写真

宇原神社

宇原神社の祭神は「彦波瀲武鸕鷀尊不合尊、彦火火出見尊、豊玉姫尊」と言われている。由緒は社伝によると、「上代 草薙不合尊」が菟田に上陸し、浮殿(京町)の居給ふ。後世其の荒魂を祭りて宇原宮と称す。
寛治4年(西暦1090年)社を馬場に遷す。嘉吉2年(1442年)以来神幸祭禮あり、慶長2年(1597年)以来鉾山を出す、とある。今の社殿は、明治32年に建設されたものである。

華麗で勇壮な飾り山笠で北九州、京築で名高い秋祭である菟田山笠は、県指定の無形文化財であり、宇原神社の神幸祭(菟田神事)の一つの行事である。神幸祭の一連の行事は鉦おろし、提灯山、連歌奉納祭、例祭、潮かき、神幸祭(10月第1日曜日)翌日の当場渡し、である。
宇原神社の宝物として、国の重要文化財に指定された三角縁神獸鏡があるが、考古学や古代史研究に不可欠のものとされている。



宇原神社

ぼくのわたしの想う町づくり

スポーツがさかな町

片島小学校6年 瓜生 卓也



菟田町はスポーツがさかな町です。その中でも、ソフトボール、ソフトバレー、アジャタ、バドミントン、サッカーなどがさかんです。

そこで、ぼくは、スポーツを今以上にさかんにし、菟田町をもっとアピールすることを提案します。菟田町ではいくつかスポーツの大会が行われています。例えば、その大会を県や全国、そして、世界へ広げていくことで、菟田町に興味を持つ人が多くなり、東京やロンドンなどと同じくらい有名な町になるかもしれません。

スポーツを通して菟田町のことをたくさんの人に知ってもらうことで、世界中の人との交流も増えて、町に活気がでて、元気あふれる菟田町になると思います。

エコロジーな町に

片島小学校6年 西本すみれ



菟田町は、自動車がたくさん走っています。休みの日は特に多いように思います。

自動車は、遊びに出かけるときは、便利がいいのですが、一方では、その排気ガスがオゾン層の破壊につながっています。

そこで私は、菟田町をエコロジー推進の町にすることを提案します。なるべく車を使用しない日を設けたり、信号待ちしているときは、エンジンをきるなど、小さなことから始めていくのです将来的には、町のバスを電気で動くものにしてもいいと思います。そして、このことを菟田町から世界へと広げていけば、オゾン層の破壊をくい止めることになるでしょう。何よりよりよい町にしていこうというみんなの意識が高まると思います。

地球規模で、今からできることをしていくことは、菟田町の発展に必ずつながっていくと私は思います。

あとがき

新年あけましておめでとう
いっしょに。

昨年景気低迷の中、政権交代という国民の大きな期待のもと鳩山政権が誕生。しかし、肝心な景気回復の具体策もなく「政治とカネ」の問題が取り沙汰され、政治家のあべき姿が今、問われています。

さて、本町においても厳しい現実の中、吉廣町政に期待する町民の声を誤ることなく正確に受け止め、今後の町づくりに務めてもらいたいと思います。

これからも解りやすく、読みやすい町民の皆様のご期待にそえる広報誌作りに頑張つて参ります。皆様からのご意見・ご要望をぜひお寄せ下さい。

小山 信美

議会広報特別委員会

委員長 井上 直修
副委員長 常山 洋美
委員 小原 信美
委員 木谷 洋美
委員 伊藤 敬明
委員 友田 忠明
委員 山口 純治

〃 〃 〃 〃 〃

井上 直修
常山 洋美
小原 信美
木谷 洋美
伊藤 敬明
友田 忠明
山口 純治